

## ジャンクション構造を一体的に活用した場合のインターチェンジ



(S=1/25,000)

凡例	
	開削ボックス
	シールドトンネル

(参考) 現都市計画 (高架構造)		ジャンクションのみ		ジャンクション構造を一体的に活用したインターチェンジの場合					
				東八インターチェンジ (東名方向のみ)		20号インターチェンジ (開越方向のみ)		東八インターチェンジ(東名方向のみ)+20号インターチェンジ(開越方向のみ)	
				開削ボックスと考慮される区間	シールドと考慮される区間	開削ボックスと考慮される区間	シールドと考慮される区間	開削ボックスと考慮される区間	シールドと考慮される区間
約650棟	三鷹市	約340棟	約250棟	約340棟	約250棟	約470棟	約120棟	約470棟	約120棟
約510棟	調布市	約150棟	約250棟	約150棟	約250棟	約210棟	約190棟	約210棟	約190棟
約20棟	世田谷区	約20棟		約20棟		約20棟		約20棟	

(注1) 地下構造の場合の建物数は、都市計画図を用いて、地下構造を想定した場合のジャンクション及びインターチェンジに係る概ねの棟数であり、具体の調査・設計等により変動する概数です。

(注2) 地上部街路等の影響は含まれておりません。